

行徳臨海部の歴史と位置づけ

地域の歴史

- ・舟運や塩づくりなど、水辺のまちとして、他地域との交流で栄えた歴史のあるまちである。

地域の自然

- ・三方を、旧江戸川、江戸川や海に囲まれた、豊かな水辺のまちでもあった。
- ・水田、蓮田、アシ原、干潟など、広大な水辺の自然があった。

市街地形成

- ・土地区画整理事業、公有水面埋立事業等の計画的市街化により急激な都市化が進んだ。
- ・一方で、まちのうらおいと水辺が失われてきた。

広域的位置

- ・広域交通基盤（鉄道、高速道路、国道等）が整備された利便性の高い地域である。
- ・東京湾岸地域においても、魅力のある湾岸地域の一角を占め、相互の交流・連携が期待できる位置にある。

上位計画、関連計画施策の展開

<基本構想>

基本理念：「自然との共生」が基本理念の一つ

基本目標：「人と自然が共生するまち」が基本目標の一つ

- ・自然と共生するまちの次世代への引き継ぎ
- ・貴重な自然の保全、失われた自然の再生と身近に親しめる緑と水辺空間の新たな整備

<基本計画>

リーディングプラン：「水と水辺の再生プラン」がテーマの一つ

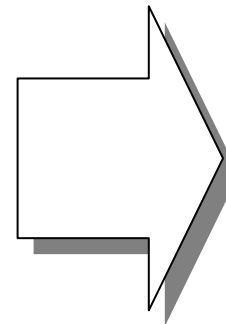
- ・水と緑のネットワーク化推進計画
- ・小川再生プラン
- ・水辺プラザ整備事業（大柏川調節池）
- ・江戸川の水辺空間整備事業
- ・海辺の親水空間整備事業

<葛南自然ふれあいモデル地区事業>

- ・葛南広域公園（拠点施設：県施行、範囲：市川・船橋：面積23ha）

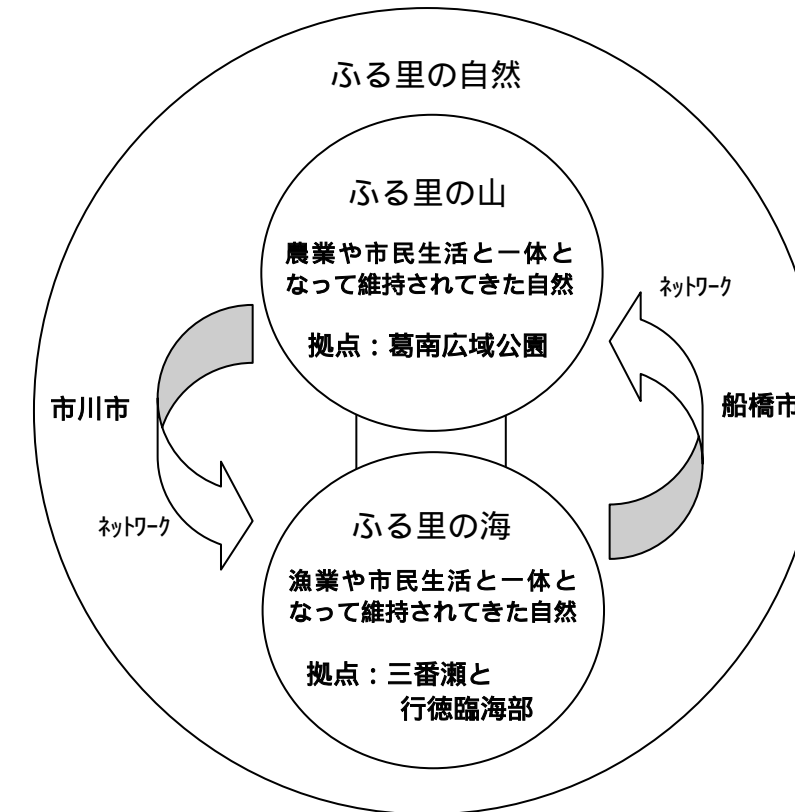
<その他>

- ・江戸川放水路のスーパー堤防、旧江戸川の堤防改修による水辺の整備
- ・下水処理水の活用による水路の復活



市川市における位置づけ

< 里山・里海の再生 >



行徳における位置づけ

< 豊かな水辺のまち行徳の復活 >

